

令和元年度第4回
関東学生ホッケー連盟役員会
議事録

期日：2019年8月19日（月）

時間：18時48分～21時00分

会場：大井ホッケー競技場スポーツセンター会議室

出席者：一川邦彦、河原茂光（以上副会長）、関谷淳一（監事）、久我晃広（理事長）、萬納宏俊（副理事長）、宮澤哲郎（事務局長）、臼井伸一、成田健一（常任理事）

林直樹（学連委員長）、坂梨匡（競技委員長）、石野隆明（審判委員長）、渡辺珠子（表彰副委員長）、三木実樹（広報委員長）、野村茉以（財務委員長）、山野かれん（書記）、永田絵弥子、山下翼、青池雅（以上学連委員）、森翔平、山本丈葵（以上副学連委員）

古屋会長が欠席のため、一川副会長が代行して開催を宣言。

【審議事項】

1. インカレ準備状況の確認

・林学連委員長より、第68回男子・第41回女子全日本学生ホッケー選手権大会実施要項について、修正箇所などの説明があり、同実施要項について承認された。

・石野審判委員長より、宿泊（ホテル）仕入れ在庫表について説明があった。現在の予定では、東横イン品川港南口天王洲の予定だが、宿泊予定の審判員と学連委員の正確な人数次第で、東横イン品川青物横丁に変更する可能性があることが確認された。

・林学連委員長より、大井ホッケー場の維持を目的とするインカレ企画書が2点提出された。1点目は、セパタクローなどのような広い普及を目指すスポーツとコラボしてお互いの競技紹介や大会への招待を行うことで、ホッケーの人気の上昇、観客の増加に繋げるとする趣旨だ。2点目は、放送における外部組織との協力体制について。昨年までは、4,5日目のみ学連委員が放送を担当していたが、各大学の放送研究会や芸能事務所に所属する学生キャスターにアナウンス業務を依頼することで、来場者の層を厚くすることができ、学連委員の人員不足の解消に寄与できる。以上の企画について承認された。

・広告の確保の状況について学生に確認したが、大口先（企業）については、これから動くとのこと。社会人役員と連携して、JHL関係、大口スポンサーなどの確保に向け、早急な対応を行うよう指示があった。

・渡辺表彰副委員長より現在までの準備状況について説明があった。レプリカについては、従来のサイズよりも大きくして（関西と同等の）レプリカにすることが予定していたが、今回は間に合わない旨が報告された。

・林委員長より、インカレ準備工程表に基づき、各担当に進捗を確認している旨の報告があった。に

2. インカレ最終日の株式会社エフエム甲府のラジオ放送実施について

・昨年と同様に最終日のラジオ放送をお願いすることが承認された。

【報告事項】

1. 関東学生ホッケー連盟予算執行状況表について
 - ・野村財務委員長より、2019年度関東学生ホッケー連盟予算執行状況表について報告があった。支出について一部項目について、再確認・報告することを確認した。
2. インカレ予算案について
 - ・野村財務委員長より、第68回男子・第41回女子全日本学生ホッケー選手権大会の予算案について報告があった。
 - ・グラウンド使用料、付帯設備使用料等について、実際の運営と照らし合わせ、より詳細に予算策定を行うこととした。10月22日(13:00~21:00)における設営準備、グラウンド使用時間を全日ともめ7:30に前倒し、試合開始時間の見直し(4,5日目)などを確認した。同変更内容を踏まえ、予算の修正を行い、同予算に基づき補助金増額申請をJHAおよび日学連に行うことを確認した。
 - ・一方で収入増加に向け、ホッケー業者出店について協議を行った。可能な限り、多くの業者に出店いただくことを確認した。
3. 令和元年度秋季関東学生ホッケーリーグ競技日程について
 - ・坂梨競技委員長より、令和元年度秋季関東学生ホッケーリーグ競技日程について報告があった。大井ホッケー場を使用する際に、大会本部や審判控え室用として競技場内の会議室を利用できるか確認することとした。
4. 令和元年度秋季関東学生ホッケーリーグ競技役員の委嘱について
 - ・坂梨競技委員長より、令和元年度秋季関東学生ホッケーリーグ競技役員について報告があった。競技役員は、春季リーグ同様に、TD 鯨井暢氏、ATD 西澤英一郎氏、TOM 西澤英一郎氏、UM 成田健一氏、AUM 栗原崇氏および高野光洋氏に委嘱する。

次回役員会（インカレ準備委員会）は、9月10日(火) 18:30~品川区総合体育館会議室で開催することが確認された。

以上

(押印略)

関東学生ホッケー連盟副会長 一川邦彦

関東学生ホッケー連盟理事長 久我晃広

関東学生ホッケー連盟学連委員長 林直樹